

すばらしき“みえ”

FOR NICE COMMUNICATION

2026.10
254号

■特集／三重でお茶を楽しむ

●いま、グループネット／NPO法人ふるさと企画舎 ●みえを歩こう／伊賀市 新堂駅周辺



新たなお茶の楽しみ方

三重でお茶を楽しむ

豊かな自然と地形、温暖な気候に恵まれた三重県は、栽培面積・生産量ともに全国3位を誇る日本有数のお茶どころとして知られています。日本人に古くから親しまれるお茶は、ライフスタイルの変化にともなう好みやニーズが変化し、近年では香りやシチュエーション、アレンジなど、飲み方や楽しみ方も多様化しています。また、健康志向の高まりに対応するお茶の開発や、お茶を取り入れたレシピなどが豊富。カフェ巡りをして、お茶の新しい楽しみ方を見つけませんか？

※各施設の営業日時・料金・予約方法や受け入れ人数などには違いがあり、状況に応じて延期や休業する場合があります。事前に必ずご確認ください。

取材・文：堀口裕世・中川絵美子・大島千佳・杉本友美
撮影……梅川紀彦・松原豊・尾之内孝昭
ただし※印の写真は取材先から提供していただきました

身体と心にやさしいお茶時間を！五感で楽しむ古民家カフェ

えんがわCafe 茶の雫

〔孤野町千草〕

御在所岳の東麓に位置する湯の山温泉、自然豊かな湯の山に佇む一軒の古民家「えんがわCafe 茶の雫」は、料亭の跡地をリノベーションして令和6年4月にオープンしたカフェ。目の前に四季折々の移ろいが楽しめる庭園が広がるカフェスペースでは、木漏れ日が差し込む広い縁側で、お茶時間を満喫できます。会社の同僚だった小林 智永さんと飛松 真弓さんが、さまざまな縁や出会いを通して二人で開いたカフェ。この広い縁側に一目ぼれし、ここぞしか味わえない心地よさをそのまま届けたいという想いで始めたそうです。



静かに佇む古民家カフェ



好みの抹茶茶碗が選べます



大広間でのヨガ教室

分で点てる体験もできるそう。ほか、抹茶ラテや抹茶オレ、抹茶ソースを使用した抹茶ビールまで用意されています。抹茶以外にもかぶせ茶や焙じ茶、加賀棒茶などお茶メニューが豊富。

茶道歴30年の飛松さんと、スイーツづくり専門の小林さんが手がけるメニューのコンセプトは、本格抹茶と洋菓子。四日市市水沢町の「池田製茶」さんから仕入れるかぶせ茶や抹茶、小麦粉や白いお砂糖を使わずに米粉と発酵の恵みを活かした手づくりのスイーツが中心のメニューは、自分たちが食べたいと思える、毎日食べても罪悪感がない身体にやさしいものをと考えているそう。

店内の一角には20種以上の抹茶茶碗が並んでいて、本格抹茶は好みの茶碗で点てられます。混んでいないときには自

「抹茶バスケット」や、発酵あんこに発酵力カオ、バナラアイスが入ったパフェに伊勢抹茶ソースがたっぷりかつた、店主おすすめの「雫小町」など、お茶を使用したスイーツも充実しています。



小林 智永さん



飛松 真弓さん

また、茶の雫にはカフェスペース以外に30畳の大広間があり、貸しスペースとしての使用が可能です。この大広間では週に1回、ヨガ教室が開催されていて、ヨガとカフェがセットになったお得な利用券も販売されています。

鳥のさえずりが聞こえ、自然あふれる庭園を眺めながら静かにゆったりと流れる時間……。日常の喧騒から少し離れて、心ほじけるお茶時間を過ごしてみませんか。

お問い合わせ

「えんがわCafe 茶の雫」

定休日 日・月・火曜日

TEL 059-324-0916



「抹茶オレ(冷)」と「雫小町(M)」



「抹茶ビール」と「米粉の野菜たっぷりキッシュ」

庭園を眺めながら縁側でくつろげる
「えんがわCafe 茶の雫」店内

伝統を守りつつ進化を遂げる、
老舗茶農家の直営直売店

マル信 緑香園

【いなべ市大安町】



客席にてご自身で焙じる「自分でほうじ茶」

明治10(1877)年に創業し、来年で150周年を迎える「マル信緑香園」。いなべ市が誇る「石榑茶」を、栽培から製造、加工、販売まで一貫して行っている老舗のお茶屋さんです。鈴鹿山脈・石榑峠の南麓に位置するいなべ市石榑地区で栽培される「石榑茶」は、竜ヶ岳の湧水と寒暖差が激しい気候、水はけのよい土壌に恵まれて、コク深



日光を遮って約2週間、被覆栽培されるかぶせ茶※

く香り高いのが特徴。文化庁の「100年フールド」に認定されています。代々



伊藤 典明さん

続く「マル信緑香園」の5代目園主、伊藤典明さんは、お茶を通じて地域を盛り上げたい、お茶にはもっと可能性があると感じ、36歳のときに実家を継承。年間を通し愛情を込めて栽培するお茶づくりはもちろん、お茶の魅力を最大限に引き出す商品開発にも邁進しています。地元の和洋菓子店や飲食店とコラボしたお菓子や、「日本薬膳学会」と共同開発した「薬膳茶」、「超臨界技術センター株式会社」の革新技術と融合してきた、カフェイン99%フリーのお茶「オチャッテ」、お茶のカテキンやビタミンを体外から取り入れる入浴料「お風呂に茶ポンッ!」など、固定概念に捉われずにアイデアを追求。お茶をベースにした商品を数々生み出しています。これらの商品は直営直売店やオンライン

ショップで購入可能です。また、お茶カテキンの抗酸化作用や抗菌作用に着目し、お茶の粉末を利用した工業製品なども発案中とのことで、今後の商品化にも注目です。

直売所には、囲炉裏を囲んでお茶やスイーツが楽しめる茶カフェがあり、お茶農家直営ならではの茶時間が過ごせます。「ペットボトルが普及し、お茶が身近な飲料として生活に溶け込む現代だからこそ、急須で淹れたお茶の味を楽



伊藤 絵里子さん

しんでほしい」と話す、直売所店主の絵里子さん。急須のメニューは、煎茶、かぶせ茶、玉露、ほうじ茶から選べ、茶葉の種類に最適な美味しい淹れ方を教えてくれます。お茶を楽しんだあとは、まだ栄養分が多く残っている急須のなかの茶殻をお箸で小皿に取り出し、出汁醤油を数滴かけていただきます。これが美味!お浸しのようなイメージです。また、焙焙に緑茶の茶葉を入れ、自分で焙じて仕上げる「自分でほうじ茶」は、香ばしい香りと、甘みや旨みがたまらない一品です。あたたかいお茶だけでなく、「石榑茶」、「ほうじ茶のラテやソーダ」、「薬膳茶」、

お茶を使用した「いなべの茶っぷりん」やバームクーヘン、ジェラート、かき氷など、お茶がベースのメニューやお茶に合う和洋菓子が豊富に揃っています。新茶の収穫時期には、お茶摘み体験や、自分で摘んだお茶の新芽を天ぷらにして食す体験などのイベントも開催しています。収穫体験でお茶を楽しむのも良いですね。「マル信緑香園」でお茶の魅力満喫してみたいかがでしょう。

お問い合わせ

「マル信 緑香園」

定休日 水曜日(年末年始等、臨時休業あり)
TEL 0594-17810027



石榑峠の麓にお店があります※



囲炉裏を囲んでまったりとお茶時間※



急須でゆったり「かぶせ茶」



濃厚な「石榑茶蜜」をかけた人気のかき氷※



蛇口からお茶が出る! 自由にお飲みいただけます

クイズ仕立ての「利き茶」で楽しむ、「番茶だけの奥深さ」

かぶせ茶カフェ

【四日市市水沢町】
すいざわ



おすすめの「のみくらべ膳」

だけを使って
お茶を提供し
ていること。
二番茶や秋番
茶は市場や
ペットボトル用として流通するため、カ
フェでは提供していません。「お茶はお
酒と一緒にだんだん熟成していくんで
すよ」と清水さん。春に飲むフレッシュ
な味わいとは違い、夏を越えた一番茶は
角が取れてまろやかに、深みのある味わ
いへと変化するといいます。

色づく山々を臨みながら、香り高い一
番茶をゆつくりと味わう——。お茶ど
ころ水沢町に広がる茶畑の一角に、茶農
家「マルシゲ清水製茶」が営む直営カフェ
があります。すぐそばには紅葉の名所
「水沢もみじ谷」があり、秋には多くの観
光客が立ち寄る人気スポットの一つです。

店の近くでは、山々と茶畑のコントラスト
を写真に収める人の姿も見られます。

平成22(2010)年の開業から早16
年を迎える「かぶせ茶カフェ」。父親と
夫が茶畑と製茶を、清水さんと妹、母親
が接客とカフェを担う、家族経営の店で
す。同店の最大の特徴は、一番茶(新茶)

おすすめメニューは、3種類のお茶を
飲み比べる「のみくらべ膳」。湯呑の下
の紙にお茶名が書かれており、あえて名
前を伏せてクイズ形式で提供。常連客
も毎回どれが好きか探りながら楽しん
でいるそうです。一種類をじっくり味
わう定番の「お茶膳」も根強い人気。お
茶請けの和菓子は店内で手作りし、注文
を受けてから玄米茶の玄米と粉末のか
ぶせ茶を挟んで仕上げる最中や、ミニゼ
んざい、わらび餅などあんこ好きにはた

まらないラインナップ。あんこは四日
市の老舗あんこ屋から仕入れています。
洋菓子とは、同じ茶農家仲間が営むお菓子
工房「万次郎」から届く、お茶味のお菓子
を揃えています。

11月頃からは、寒い季節にうれしいゼ
んざいなどが登場。温かいお茶にもぴ
たりです。店内にはおもちゃなどが置
かれた「お子様スペース」もあり、三世
代で訪れる家族連れの姿も見られます。
開業当初、清水さん自身の子どもが遊ぶ
場として設けたのが始まりで、「急須の
ある家庭が少なくなった今、お子さん
にお茶を淹れる体験をしてほしい」とい



カフェ近くに広がる茶畑



古き良き古民家を利用した店舗



お土産や自宅用にもぴったりサイズのお茶



「お子様スペース。でくつろぐ」



「お茶膳」に洋菓子のお茶請け

お問い合わせ

「かぶせ茶カフェ」

営業日 木・土曜日 10時〜17時

TEL 059-329-2611

の伊勢茶は、北部のかぶせ茶と南部の深
蒸し煎茶という二本柱で成り立ってお
り、なかでも水沢町はかぶせ茶の名産地
として知られます。この土地ならではの
一杯を味わえるのが「かぶせ茶カ
フェ」の何よりの魅力でしょう。

紅葉狩りの合間に、あるいはお茶その
ものを目的に。実りの秋、香り豊かな一
番茶とともに、心なごむひとときを過ご
してみませんか。



清水 加奈さん

老舗茶商ならではのブレンドで好みの味を

茶遊膳 茶重

【松阪市新町】



ブレンド体験用の茶葉。色も香りもさまざま

松阪駅から徒歩で数分。文久3（1863）年創業という老舗「茶重」では、利き茶と茶葉のブレンド体験を行っています。お話を伺ったのは塚本泰弘さん。6代目の店主です。

よっても、味は大きく変わります。もちろん湯の温度や淹れ方も大事です。今はペットボトルのお茶が主流になってきましたが、本来のお茶の味わいを知って、より自分の口に合うお茶を探して楽しんでいただきたいと思っています。さまざまな産地、種類、製法の茶葉を集め、味を確かめ、ブレンドできるのは、各地から茶葉を仕入れる茶商ならではのいえろいでしょう。

この日ご用意いただいたのは、三重県産の「おくみどり」という同じ品種で栽培方法や蒸し時間を変えた3種類の茶葉と、鹿児島県知覧の「さえみどり」、福岡県八女の「さきみどり」、そしてその2品種から改良された松阪産の「きらり31」の深蒸し煎茶。6種を淹れてもらって飲んでみると、色や香り、苦み、渋み、甘みなど、それぞれ大きく違うことが分かります。



代表取締役
塚本 泰弘さん



茶葉に合わせて湯の温度や急須を変える

「まずは、どの茶葉がどんな味で、自分がどんな味が好きかということを理解して、そのうえで、軸となる茶葉を選び、そこにどんな味わいを加えたいかを考

えてブレンドしてもらいます」。お茶の効能として知られる抗菌や免疫力向上はカテキン（ポリフェノール）によるもので渋い味わい。覚醒、利尿作用はカフェインで苦み。リラックス効果はテアニンというアミノ酸で甘みや旨味として感じられます。どんなシーンで飲みたいか、どんな味が好きか、じっくり考えて選び、好きな味を求めてブレンドすれば、自分だけの味わいの茶葉ができます。そのあとはかわいいう千代紙柄の茶筒に入れてお持ち帰り。日々何気なく飲んでいるお茶に、奥深く豊かな広がりがあることを実感させてくれます。

ここでは、ほかにも手作りほうじ茶や手揉み茶などの体験もできます。「お宅に眠っている茶葉をお持ちいただければ、おいしいほうじ茶に変身させることができます」とのこと。体験はいずれも予約が必要です。

店内にはさまざまな茶葉や茶器のほか、工芸作品や老舗に伝わる古美術などもあり、目の保養にも。五感をフルに楽しませてくれるお茶体験です。

お問い合わせ

「茶遊膳 茶重」

定休日 日曜日・第3月曜日

TEL 0598-21-0701



微妙な淹れ方で味が変化



同じ「おくみどり」でも色も香りも味も違う



自分の好きな味を探す「利き茶」



体験した高校生たちもお茶の深みにびっくり※



暮らしを彩る器や工芸品なども豊富



見渡す限りの茶畑が続く



「茶寿」の一煎目はほんの数滴を



「茶寿」のセットに茶園ようかんを合わせて



季節ごとに変わるスイーツの中でこの3品は定番



店舗ではさまざまな種類の茶葉などを販売



「日本茶カフェ」は茶の香漂う癒しの空間

茶葉と急須やポット、砂時計などがセットになっていて、淹れ方を店員さんがレクチャーしてくれるので、おいしく淹れるコツも学べます。古民家を改装した店内で、色や香り味わいの変化などを楽しみ、ゆったりとお茶を味わえば、お茶の葉と同じように心もほぐれて広がっていくようです。お茶と引き立てたあお菓子やお茶を使ったスイーツも、季節ごとにいろいろ用意されています。

き、三煎目からはたっぷりのお湯でお楽しみください。ほのかな甘みが先行し、渋みを感じない柔らかな味わい。茶の字は十を二つ書く草冠と八十八の漢数字でできていることから、百八歳を「茶寿」と呼ぶことに由来する、縁起の良い名前のお茶です。

「来年からは当社も抹茶を製造し始めます」と小林店長からの最新情報も。薫り高い飯南の抹茶の登場が待たれます。

お問い合わせ

「深緑茶房 本店」

定休日 水曜日・年末年始(12/31・1/3)
TEL 0598-1321-5588

山に沿ってどこまでも緑の茶畑が続く、松阪市飯南町粥見。宋から日本に茶の木が伝わったのは鎌倉時代とのことですが、その後早い時代にこの地域にも茶がもたらされ、古くからお茶の産地として知られてきました。江戸時代には

將軍に献上されたり、明治時代にはこの地出身の大谷嘉兵衛が茶葉を輸出するため渡米してマッキンレー大統領に關稅撤廃を直談判するなど、お茶にまつわるさまざまな物語が伝えられています。

「この土地の地形や自然がおいしいお

茶をつくるんですよ」と教えてくださったのは、「深緑茶房」本店店長の小林 俊之さん。「山が迫っていることと櫛田川がもたらす朝霧によって日照時間が短いため、生育がゆっくりで葉が厚くなるんです。また、山の養分や川の冷気などの恵みにより旨味・甘みが多く渋みが少ないお茶になります。昔の人はそれを知っていたのでしょうね。」

「深緑茶房」は「やぶきた」を中心に10種ほどの品種の茶の木を育て、それぞれにふさわしい蒸し時間や焙煎で製茶し、店舗やカフェなどで販売するまでのすべてを行っています。「もとは農家でしたが、土づくりからこだわって育てたお茶を、おいしく届けたいという想いから平成11(1999)年に法人化しました。」

この商品は、津支店や東京の「三重



「千寿」のセットにチーズケーキを添えて

深緑茶房 本店

自然の恵みの中、土づくりから淹れ方までをトータルに

【松阪市飯南町】



小林 俊之さん

豊富な伊勢茶スイーツでひとやすみ

木下茶園 外宮前店

【伊勢市岩瀬】



伊勢抹茶の深い風味に驚く「お濃茶づくし」

抹茶やほうじ茶、和紅茶を使ったプリンやあんみつ、ラテ、フロズン、季節限定のかき氷やパフェなど、常時20種類以上の伊勢茶スイーツが並ぶ「木下茶園 外宮前店」。中でも人気は、最上級ランクの抹茶を贅沢に使ったジェラートと抹茶テリーヌを一度に味わえる「お濃茶づくし」。テーブルに運ばれてきた瞬間、抹茶の豊かな香りがふわりと漂い、一口食べれば、お茶本来の深い旨みが口いっぱいに広がります。

この店を営む「木下茶園」は、昭和12（1937）年に「うらの

し商店街」で創業した老舗のお茶屋さん。もともとは冠婚葬祭などで使われる

お茶を中心に扱っていましたが、12年前に3代目の木下直也さん・弥由子さん夫妻が店を引き継ぎました。

「若い女性でも気軽に入りやすいお店をつくりたい」と話す直也さん。お茶屋さんには「量り売りで値段が分かりにくい」「入りづらい」という敷居の高いイメージがあるのではないかと考え、「お茶の伝統・文化を大切にし、新しいお茶の生活を提案する」をコンセプトに店づくりを始めました。女性が手に取りやすいかわいらしいパッケージの商品を開発し、店内にはカフェを併設。香料を一切使わず、本物の茶葉だけで仕上げた抹茶やほうじ茶のジェラートは、「お茶の香りが濃厚」と評判になり、地元でも人気を集めました。

その後、縁あって外宮前店をオープン。



木下 弥由子さん

「全国から多くの人が訪れる伊勢から伊勢茶の魅力を発信したい」という想いもありました。当初はドリンクスタンド

でしたが、観光客から好評を得たことを機に店舗を拡大し、カフェや物販スペースを拡充。現在は、ゆっくりとスイーツを味わえる外宮前店、食べ歩き向けメニューが充実した内宮前店、茶葉を専門に扱う浦の橋店と、それぞれの立地に合わせた店づくりを展開しています。

外宮前店のスイーツはすべて手作り。かき氷では、お客さん自身が抹茶を点て、その場で抹茶蜜を作ることができ、淹



人気の「伊勢抹茶フロズン」



特選伊勢抹茶かき氷（夏季限定）※

れ点でならではの香りや風味を楽しめます。

「子どもから年配の方まで、おいしく食べてもらえる味を大切にしています」と話す弥由子さん。「スイーツをきっかけに伊勢茶のおいしさを知っていただき、お茶そのものにも興味を持ってもらえたらうれしいですね」。店内には、かわいらしい茶筒入りの伊勢茶やハーブティー、伊勢茶フィナンシェなど、お土産にぴったりの商品も並びます。伊勢神宮を参拝した後は、伊勢茶の豊かな香りに包まれながら、ほっとひと息ついてみてはいかがでしょうか。



伊勢神宮外宮のすぐ近くにある店舗



お土産もいろいろ



オリジナル缶入り伊勢茶

お問い合わせ

「木下茶園 外宮前店」

定休日 水曜日（臨時営業あり）

TEL 0596-24-6747

※印の写真は取材先から提供していただきました

NPO法人ふるさと企画舎

世界遺産・熊野古道のある紀北地域で、地域資源を活かした参加体験プログラムの企画運営、環境保全活動、地域の魅力発信に取り組み「NPO法人ふるさと企画舎（北牟婁郡紀北町）」を地域住民や来訪者がともにこの地域を大切な「ふるさと」と感じるまちづくりをすすめています。



代表 田上 至さん

お問い合わせ

「NPO法人ふるさと企画舎」
北牟婁郡紀北町船1548-1
TEL 0597-33-0077
(キャンプinn海山)

日本有数の清流として知られる銚子川。そのほとりに広がる「キャンプinn海山」の運営管理をするのが「NPO法人ふるさと企画舎」です。人・自然・歴史・文化などの地域資源を活かした「人づくり・まちづくり」の活動について、代表の田上至さんに伺いました。

活動のきっかけは。

田上：NPO法人を立ち上げたのは、海山町と紀伊長島町の合併を機に、町が管理していたキャンプ場の指定管理者を公募したことがきっかけです。「地域の大切な施設を、私たち地域住民の手で運営したい」と法人化して応募しました。

田上さんはそれ以前もさまざまな活動をされていたのですね。

田上：私は紀北町で生まれ育ち、高校卒業後は6年間で暮らしましたが、その後Uターンしました。帰郷したとき、子どもの頃によく遊んだ池が開発によってなくなっているのを見て、「この地域の魅力である自然を守りたい」と強く感じ、「自然を愛する海山メダカの会」を立ち上げて保全活動を始めました。また当時町が管理していた「キャンプinn海山」で自然体験のインストラクターとしても活動していました。長年ボランティアで取り組んできましたが、継続するには限界も感じていました。ちょうどその頃、キャンプ場の指定管理者を公募するタイミング

と重なったのです。——具体的にどんな活動をされているのですか。

田上：キャンプ場の運営管理を中心に、銚子川などこの地域ならではの自然や文化を体感できる体験プログラムを企画・実施しています。また元保育士のスタッフもいることから、子育て世代を応援する企画にも力を入れています。「親子ワークショップ」では、親が仕事をしている間に子どもを預かり、自然体験を提供しました。さらにアウトドア体験を通じて災害時にも役立つ「生きる力」を育む企画も実施しています。

銚子川とその周辺の自然環境を守るため、保全活動にも取り組んでいます。漁

協や利用者とともに清掃活動を定期的に行うほか、川沿いの看板や標識を磨き、訪れる人が気持ちよく利用できる環境づくりを進めています。

——他にはどのような活動をされていますか。

田上：活動を継続するには、自ら資金を生み出すことは重要です。そのために、まだまだ利益を生み出すことは難しいですが、地域の魅力や価値を高める取り組みとして、郷土食「くき漬け」の生産・加工にも力を入れています。

「くき漬け」とは？



子どもたちに体験を提供 ※



「くき漬け」づくりのようす ※



地元企業と一緒に取り組む ※

田上：サトイモの一種「ヤツガシラ」の茎を塩と赤シソで漬け込んだ郷土の漬物です。かつては家庭で作られていた「ふるさとの味」ですが、生産量が限られるため、地域内で消費されることがほとんどでした。

「くき漬け」の事業には、どのような方が関わっているのですか。

田上：地域の農家や企業と協働して生産・加工を行っています。農家が育てたヤツガシラの茎を当法人が漬け込み、商品化します。農家の皆さんにとっては収入につながる取り組みになればと思っています。地元企業の「海洋ゴム株式会社」

にも、CSR活動の一環として協力いただいています。銚子川の清掃活動を通じて交流が始まり、「外国人従業員に日本の文化を知ってもらいたい」という想いから関わっていただくようになりました。紫蘇の若葉を摘むなど、人手が必要な作業では大きなささえとなっています。

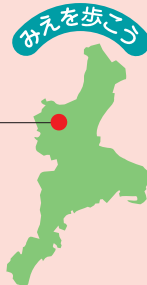
——多様な関係者との関わりを大切にしながら、進められているのですね。

田上：紀北町の大切な施設を預かる立場として、地域のさまざまな人とのつながりを大切にしながら、地域の魅力発信と価値向上に取り組む続けたいと考えています。また、この地域の大きな魅力である世界遺産「熊野古道」を訪れる人たちにとって、「キャンプinn海山」が宿泊や交流の拠点となるような取り組みも進めていきたいですね。

——人づくり、まちづくりの拠点として、そしてこの地を訪れる人にとっても「ふるさと」と感じられる場所として、これからの活動にも期待しています。

インタビュー……中川 絵美子

※印の写真は取材先から提供していただきました



生まれ変わった駅前から、
忍びと信仰の里をたどる

伊賀市「新堂」駅周辺

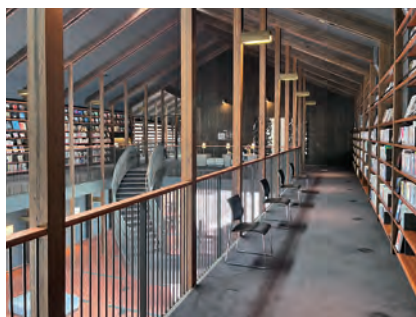
JR関西本線「新堂」駅は、大正10（1921）年に開業した伊賀市北部の玄関口。江戸時代前期に伊賀・甲賀の忍術を大成した忍術秘伝書『萬川集海』に登場する十一人の忍者の一人「新堂ノ小太郎」の伝承地としても知られています。小太郎の姓は金藤といい、佐那具の城に忍び込んだ際に見つかってしまい、井戸に石を投げ込んで逃げたという逸話も伝わります。近年、駅前の「SHINDO YARDS」には図書館や市役所支所、銀行が整い、地域の新たな交流拠点として生まれ変わりました。今回はこの新堂駅を起点に、人々の出会いを育む図書館や信仰を集める高台の社、水運で栄えた荘園の井戸、そして地元の造り酒屋までを巡る、家族連れにもおすすめの散策コースをご紹介します。取材・文：杉本友美

「SHINDO YARDS」から 神明神社、佐々木氏城跡へ

今回の散策のスタートは、JR「新堂」駅前に広がる「SHINDO YARDS」。地元企業「DMG森精機」による地域貢献の一環として、企業・市・地域が協定を結び整備されました。図書館「BOOK MARK STORAGE」は、地元のスギを使用した落ち着いた漆黒の外壁に開放的な空間、カフェも併設されています。電車を待つ間にくつろぐ人や、休日には家族連れも。「子どもたちが夏休み



図書館「BOOKMARK STORAGE」



館内は吹き抜けで開放的



神明神社



神明神社から新堂一帯を眺める

に勉強したり、待ち合わせに使ったり憩いの場になっています」と奥澤さん。図書館を出て駅の北側から住宅地の細い坂道、細い参道を上りきると、神明神社に到着です。同社は、新堂・楯岡・柏野にある神社を明治41（1908）年に合祀したもので、天照大神をはじめ13柱の神々が祀られています。小高い場所にあるため、境内からは新堂の田園風景や工場群などを見渡せて、夏には花火大会を眺める人で賑わうそうです。

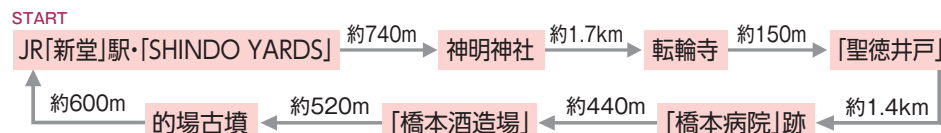
佐々木氏城跡。私有地のため立ち入りはできませんが、鳥居付近からその森を臨むことができます。一部、堀や土塁が今も残るといい、「弓の稽古で矢を放った先が、駅の南に見えるあの的場古墳なのです」と教えていただきました。奈良の興福寺一条院から還俗し15代将軍となった足利義昭が、甲賀へ向かう途中にこの城に立ち寄ったという説も伝わります。『富治林家由緒書』には、近江の六角義賢が湯舟から新堂を訪れた際、郷土に「佐々木」の名字を許したという記述も残されており、近江との深いつな



今回ご案内いただいたのは、「西柘植地域まちづくり協議会」の代表、奥澤 重久さんです。地域への熱い想いが伝わる楽しいお話を交えつつ、足取りも軽く進みました。



■ 行程図 所要時間／約2時間30分 ※所要時間は、おおよその目安です。





転輪寺の入口



転輪寺を見守る七本松



古くからこの地を潤してきた「聖徳井戸」



「聖徳井戸」近くに広がる田園

がりを物語っています。

柏野の里に伝わる松と水の物語

神社を出て坂を下り、柏野方面へ1.7キロメートルほど歩くと、転輪寺に着きます。境内に立つのは、一つの根株から7本の幹がまっすぐ天に向かって伸びる珍しい松、七本松です。滋賀県などに分布するウツクシマツの一種で、いつ誰が植えたのかは定かではありませんが、代々の住職に見守られながら、地域のシンボルとして大切にされています。

転輪寺からさらに数分歩くと、田園の

傍らに「聖徳井戸」があります。柏野の地はかつて東大寺の荘園で、ここで収穫した米を柘植川から木津川、淀川を経て奈良まで舟で運んだと伝わります。「下りは川を舟で下り、上りは大和街道沿いを牛に舟を曳かせたそうです」との話を、今も静かに語り継がれています。井戸の水でこの一帯の水田を潤したという逸話は、今も静かに語り継がれています。川沿いにはかつて御代・物堂・上市場などの市場が並び、集落が発展してきたといい、旧大和街道と柘植川沿いを歩くと、その名残を感じることができます。

名医のふるさと「橋本病院跡」と「橋本酒造場」

「聖徳井戸」から国道25号線を越え、旧大和街道沿いをたどって向かうのは橋本策博士ゆかりの地です。明治から昭和にかけて活躍し、甲状腺の病氣「橋本病」に名を残した世界的な医学者で、大正5（1916）年には家業を継いで橋本病院を開院しました。かつての病院の跡地には、現在蔵が一棟残るのみですが、「お寺の近くに移築できないか、今も検討を続けています」とのこと。県内外

から多くの患者が訪れ、分け隔てなく診療にあたった逸話も語り継がれています。橋本博士の功績は、地元研究者・川崎記者先生の著書にもまとめられており、地域では今もその足跡をたどる取り組みが続いています。

続いて向かうのは「橋本酒造場」。かつて6軒あった旧伊賀町域の酒蔵で、唯一残る蔵元です。清酒「俳聖芭蕉」は全国新酒鑑評会で連続金賞を受賞。「夫婦二人で仕込める量しか造っていないので、伊賀市内でのみ販売しています」と、橋本勝誠さん。純米吟醸は冷やして、常

温やロックでも楽しめる甘口のお酒で、地元の人々にも親しまれています。仕込みの様子の見学や試飲も、事前に相談すれば対応可能とのこと。

「弓的が残した地名」的場古墳

酒造場を後に、駅へと戻る田んぼ道の中にある的場古墳。現在は畑地となっているこの小高い塚は、佐々木氏城跡から弓の稽古の的にしたと伝えられています。「あんな遠くからいくつ打っても届くわけないやけどね」と、ほほ笑む奥澤さん。田んぼの中の小山を遠く静か

に眺めながら、「新堂」駅へと戻ります。歴史と信仰、そして地域とともに歩んできた産業の物語が詰まった新堂駅周辺。駅前の「SHINDO YARDS」では、2026年秋にはワイナリーに続きレストランとホテルの開業も予定され、散策後に立ち寄る楽しみも増えそうです。また、10月末には地元主催の「歴史ウォーク」も予定されており、家族連れでも楽しめる新たな散策スポットとして注目されています。

問「西柘植地域まちづくり協議会」

TEL 0595-45-8611



「橋本病院跡」にある蔵



夫婦で営む「橋本酒造場」
清酒「俳聖芭蕉」



新酒鑑評会での受賞歴も



田んぼの中にこんもりと佇む的場古墳

三重の祭り

国指定・選択 / 県指定・選択

上野天神祭のダンジリ行事

(伊賀市中心市街地)

【開催日】10月23日(金)~25日(日)



400年以上の歴史を誇る、伊賀上野を代表する秋祭りです。菅原神社(上野天神宮)の秋祭りとして毎年開催され、豪華な9基のだんじりが町を巡行します。本祭(25日)では、約100体の鬼が練り歩く迫力ある鬼行列に続き、笛や太鼓のお囃子を響かせながらだんじりが巡行し、城下町は祭り一色に包まれます。国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28(2016)年には「山・鉾・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されています。

問 上野天神祭地域振興実行委員会

TEL 0595-21-0527(上野商工会議所内)

棚橋の御頭神事

(度会町棚橋)

【開催日】2027年2月13日(土)



約300年以上受け継がれてきた、悪魔退散や家内安全を祈願する伝統行事。祢宜と三役(獅子舞2人・天狗)が中心となり、昼は棚橋コミュニティセンターを「宿」として獅子舞を奉納。夜には天狗と見物人による「ウマ」という行事が行われ、離ればなれになった雌雄の獅子が互いの名を呼び合いながら舞う姿が見どころです。宮川を流れてきた雌雄の獅子頭が棚橋と対岸の下久具に流れ着いた伝説に由来すると伝えられます。県指定無形民俗文化財。

問 度会町教育委員会

TEL 0596-62-2422

表紙写真 「かぶせ茶カフェ」(四日市市水沢町)

百五銀行のホームページで、「すばらしき“みえ”」のバックナンバーをご覧ください。
<https://www.hyakugo.co.jp/mie/>